六稜会報

journal of the RIKURYO alumni association of KITANO HIGH SCHOOL



INDEX

43

2004.9.15

02 会長・名誉会長挨拶
04 会務・会計報告
06 六稜会館
09 事務局より
10 東京六稜会
12 六稜天文台
14 PARTY REPORTS
17 行事予告
18 六稜文庫
20 母校の窓

一　本　の　樹

—会長就任のご挨拶に代えて—

六稜同窓会 会長　山　本　次　郎（62期）



昨年、12月20日の六稜同窓会拡大常任理事会で次期会長へのご推挙ご承認を受け、さる４月10日の常任理事会において新会長を仰せつかりました山本次郎です。なにぶんにも70歳を超えた老齢でもあり、とてもこのような大任をお受けする器ではございませんが、同窓会のご下命がありました以上は気力を傾け、任期を全うさせて頂く所存でおりますので、何卒宜しくご支援お励ましのほど、お願い申し上げます。

母校は、新校舎、新同窓会館の建設が完成し、130周年事業も無事終了しましたが、さて今日、これからの新しい時代をどのような心構えで進んで行くべきか。永年の伝統を踏襲するだけでなく、内容的にもいかに若返り、活性化して行くか、が問われています。そのための組織や人事をどうするのか。これまでは募金の関係もあり常任理事が31名、万事がやや肥大化していた弊がありましたが、今回はこれを一新し、まず組織としては、総務、財務、会館運営、名簿、広報、ＦＲ（フレッシュ六稜）の六つと、東京、学内を加えた八委員会制としました。このうち、会館運営は一年間で8000名もの利用者があり、また、ＦＲは主として80期以降の若手諸君に活動の場を提供するものでありますので、皆様方の大いなる活用をお願いする次第です。

次に、常任理事の数も半減、これを15名とし、全員が各委員会の正副委員長として分掌事務に責任を負う、というシステムに改めました。各委員会は夫々の分野で会員の皆様方のご意見ご要望を伺い、論議をし、その過程を常任理事会に報告し、提案する。常任理事会はそれを踏まえて、審議をし、結論を得る、という仕組みにいたしました。

六稜同窓会の会員はまさに千差万別です。年齢ひとつとっても、古くは明治大正の大先輩から、戦中戦後の世代、団塊の世代、それにつづくヤングの世代——　この大同窓会のアイデンティティをどのように理解し、把握するのか。私は常日頃、この難問に直面し、苦慮しておりました。

そのような或る日、私は新校舎の玄関先に新しく植え込まれた「シンボル・ツリー」の前を通りかかったのです。「シンボル・ツリー」とは、つい三年ほど前、植栽委員会が木種を選定していた桂の木のことですが、これが北野のシンボルだという触れ込みでやって来たとき、正直いって私たちはオヤオヤと思いました。身の丈はともかく、北野の象徴というには幹も枝もあまりに細く、枝ぶりはまあまあとしても、印象がひ弱にすぎる。うーん、この樹はほかに移ってもらって、もっとたくましい北野らしい樹を植えかえんといかんのやないか、という声もちらほら出はじめました。ちょうどそのような折も折、私は現場を通りかかったのです。しかし、そのとき、私は何故かハッとしました。ささやかな感動のようなものを覚え、私はじっと樹の姿をみつめ直しました。

その樹は午後の光を浴びて、生き生きと輝いていました。すこやかに枝を伸ばし、葉かげも爽やかで、心なしか幹も太くなったようにみえました。その姿は健気でした。私は、自分は大きな過ちをおかそうとしているのではないか、とふと思ったのです。この樹は縁あってこの地にやって来て、根を張り、懸命に生きて行こう、としている。そのような若木の生命感にも気づかず、自分はただ大きな樹に植えかえればよいなどと考えている。この若木を励ましてたくましく育てて行こうなどとは何ひとつ思いやらず、安易な発想に取り憑かれようとしている。北野は巨木でないといけないという錯覚に陥っていたのか。私は、自分が情けなくなりました。

それからです。私が、この樹を育て、この樹からも若い力を学んで、ともに元気よく生きて行こう、と思ったのは。これが初心といえるかどうかは判りませんが、老骸の身ながら、私はこのような気持で同窓会の仕事をして行きたい、と考えています。皆様方のご賛同とお励ましを、今後ともどうか宜しくお願いいたします。

〈略歴〉　1931年大阪市生れ。44年旧制北野中学入学。50年新制北野高校卒業(62期)。49年甲子園のセンバツ高校野球大会の優勝ナイン。投手、中堅手、四番打者。東大法科、司法研修所卒業後、弁護士。衆参両院議員選挙における「一票の格差」訴訟を担当し、大阪高裁、最高裁大法廷で違憲、違憲状態判決を数回獲得、選挙制度の改革に従事。同窓会では広報委員長、会館建設委員長、副会長を歴任。

130周年を機に
—新たな地平に向けて—



大阪府立北野高等学校　校長
六稜同窓会名誉会長　　中　垣　芳　隆

秋気蒼天に満つの言葉そのままの清々しい時節となりました。六稜同窓会会員の皆様にはご健勝でお過ごしのこととお慶び申し上げます。

また、平素から母校の教育の充実・推進にお力添えを賜り、厚く御礼申し上げます。

昨秋の創立130周年記念式典の華やぎがつい昨日のことのように思い起こされますが、六稜同窓会の皆様のご尽力に改めての敬意と謝意を表するところです。

北野高校も周年行事を契機として、府立高校のフラッグシップとして府民の期待に応えるべく、新たに確かな歩みを刻んでおりますが、同窓会におかれましても記念行事を無事終えられたのを機として、山本新会長のもと新たな体制を整えられました。

稲畑前会長をはじめ、同窓会活動の発展に長年にわたり寄与いただいた多くの皆様方のご努力に心からの感謝と敬意を申しあげます。

さて、卒業生の皆様の悲願であった六稜会館は、正式オープン以来、同窓会活動の拠点として、また、学校教育活動の場として期待に違わぬ役割を果たしています。

トークリレーや佐野・山崎両先生の講座、梶本先生のKプロジェクトなど、同窓生の皆様の知的創造の拠点として機能していることに、六稜の志の高さを感じるところでございます。

同時に、ご寄贈いただきましたこの会館は、本校生徒・教職員にとりましても、クラスのホームルーム活動・発表会、講演会や教職員研修といった日常的な教育活動において、有用かつ貴重な施設として様々に活用させていただいており、学校といたしましては、この会館が、図書館・多目的ホールとともに生徒の知的活動の場となり、将来の我が国を担う多くの知性溢れる人材が育つことを期待しております。

さて、規制緩和と地方分権を柱とする改革が、政治、経済、教育をはじめ様々な分野において推進されています。

社会構造のドラスティックな変化の中で、北野の志向すべきものは何かという大きな命題については、130年の長きにわたり、揺らぐことなく育まれてきた六稜の歴史そのものが答であると、大いなる自信を抱いております。

一方、個別具体の課題として、国公立大学の独立行政法人化に伴う入試システムの変革を視野にいれての、週五日制のもとでの学力充実と進路保障の方策、平成19年度実施予定の通学区域の見直しへの対応など、北野の将来にとり確実な舵取りが求められるところですが、勉学にクラブにと何事にも賢明に取り組んでいる生徒達、一つ一つの授業に全力を傾け、常に生徒にとって何がベストかというスタンスを見失うことなく惜しみない情熱を傾注しておられる先生方の姿を見るとき、オリンピックのアスリートのごとく柔軟かつ強靱な北野の教育は揺るぎないものと深い安らぎを覚えるところです。

今年度で終了するスーパーサイエンスハイスクールも、本校独自のコースとして継承、発展することに決定しました。府の指定としてのエルハイスクール（人材育成開発重点校）も130年の伝統と歴史の中で培われてきた北野の教育を更に推し進める教育実践として着実な展開を見せています。

六稜同窓会の皆様には、今後とも、母校と母校で今学ぶフレッシュな六稜生に変わらぬ慈しみとご支援とをお願い申し上げご挨拶といたします。

会務報告・会計報告

■常任理事会(平成16年2月14日)
4月よりの新体制案を検討

■常任理事会（平成16年4月10日）
新旧役員・常任理事の交替につき新旧合同の常任理事会開催
① 平成15年度会計報告及16年度予算
② 各委員会活動計画
③ 東京六稜会報告
④ 130周年記念事業会計報告

■常任理事会（平成16年5月22日）
① 平成15年度決算報告
② 各委員会活動計画説明
③ 東京六稜会報告
④ 事務局報告

■常任理事会（平成16年6月19日）
理事会進行について

■理事会　（平成16年6月19日）
A:承認事項
① 平成15年度会計決算報告及16年度予算
B:報告事項
① 各委員会活動計画説明
② 東京六稜会報告
③ 130周年記念事業会計報告
④ 会費納入率アップのお願い（事務局より）

新役員（平成16年６月19日現在）

会　長	山本　次郎	(62期)
名誉会長	中垣　芳隆	(校長)
副会長	内藤　壽一	(61期)
	志甫　溥	(66期)
監　事	枡田　圭兒	(62期)
	北浦　康弘	(71期)

常任理事（各委員会正副委員長）

総　務	木村　市三	(73期)
財　務	(兼)内藤　壽一	(61期)
	(副)藤田　秀昭	(62期)
会館運営	岡田　一彦	(65期)
	(副)邑上治兵衛	(68期)
	(副)壽榮松正信	(74期)
名　簿	奈木　進	(66期)
広　報	富田　昌宏	(78期)
F　R	千種　康一	(88期)
	(副)鎌田　俊一	(81期)
	(副)安井　昌子	(88期)
	(副)黒木　敏郎	(91期)
	(副)徳岡　浩二	(92期)
東　京	松本　邦宏	(70期)
学　内	下村　孝夫	(81期)
教　頭	鎌田　俊一	(81期)
事務部長	橋田　國身	
顧　問	稲畑　勝雄	(56期)
	大山　利雄	(56期)
	緒方　正名	(56期)
	尼崎　孝雄	(58期)
	大岩　重雄	(60期)
	加藤　知彦	(62期)
	丸野　豊子	(66期)
事務局長	(兼)岡田　一彦	(65期)

平成15年度 六稜同窓会 一般会計【決算報告】

科目	平成15年度予算	平成15年度決算
●収入の部	円	円
1.入会金収入	1,020,000	1,080,000
2.年会費収入	21,000,000	19,623,000
3.総会費収入	0	0
4.寄付金収入	1,400,000	2,526,550
5.広告収入	0	749,930
6.利息収入	0	234
7.出版物等売上	1,000,000	410,394
8.130周年記念グッズ売上	4,000,000	2,517,000
9.基金会計より受入	10,000,000	10,000,000
収入合計	38,420,000	36,907,108
●支出の部		
[1] 運営費	9,600,000	9,660,983
1.人件費	2,400,000	2,100,000
2.雑給	2,200,000	2,680,900
3.旅費・交通費	1,000,000	1,181,060
4.通信費	400,000	603,499
5.印刷・事務用品費	1,000,000	1,325,957
6.什器・備品	600,000	300,877
7.会議費	500,000	242,041
8.総会費	0	0
9.慶弔費	800,000	418,500
10.図書費	0	0
11.雑費	700,000	808,149
[2] 広報費	12,127,577	11,141,647
1.WEB関連費	1,200,000	2,081,331
2.会報発行関連費(40号)	1,127,577	1,045,817
(41号)	4,300,000	3,934,931
(42号)	4,300,000	3,132,700
3.広報全般経費	1,200,000	946,868
[3] 全国大会出場援助費	200,000	350,000
[4] 各種事業援助金	400,000	418,611
[5] 基金会計積立金	0	0
[6] 教育環境整備援助費	500,000	500,000
[7] 同窓会館建設関連費	0	1,178,715
[8] 同窓会館関連費	6,500,000	3,490,106
1.雑給	600,000	214,284
2.旅費・交通費	200,000	57,960
3.印刷・事務用品費	1,000,000	1,274,753
4.什器備品・設備費	300,000	807,230
5.光熱費	2,300,000	879,138
6.設備管理費	2,000,000	119,700
7.雑費	100,000	137,041
[9] 130周年記念行事	9,848,485	9,848,800
[10] 予備費	2,605,021	592,255
支出合計	41,781,083	37,181,117
本年度収支差額	▲3,361,083	▲274,009
次年度年会費前受収入		8,224,000
前年度繰越金	3,361,083	3,361,083
次年度繰越金	0	11,311,074

以上の通り　平成15年度一般会計報告を致します。
平成16年4月19日　六稜同窓会会長　山本次郎
本会計の正確であることを認めます。
平成16年4月19日　六稜同窓会監事　枡田圭兒
六稜同窓会監事　北浦康弘

平成15年度 六稜同窓会 基金会計【決算報告】

自 平成15年4月 1日
至 平成16年3月31日

科目	決算	摘要
●収入の部	円	
1.建設会計から受入	2,755,279	
2.利息収入等	113,664	
収入合計	2,868,943	
●支出の部		
1.一般会計へ	10,000,000	
支出合計	10,000,000	
本年度収支差額	▲7,131,057	
前年度繰越金	36,338,076	定期預金満期分、郵便定額貯金、農林中金貯金、二次会ネーブル運営より
次年度繰越金	29,207,019	

以上の通り 平成15年度六稜同窓会基金会計報告を致します。

平成16年4月19日 六稜同窓会会長 山本次郎

本会計の正確であることを認めます。

平成16年4月19日 六稜同窓会監事 枡田圭兒
六稜同窓会監事 北浦康弘

六稜同窓会 募金会計 決算報告（最終）

（当年度）自 平成15年5月 1日
至 平成16年3月31日

（累計）自 平成12年5月 1日
至 平成16年3月31日

科目	円	円
●収入の部		
1.募金収入	0	313,044,242
2.利息収入等	198	403,832
3.その他	0	3,000
収入合計	198	313,451,074
●支出の部		
1.建設会計へ	33,866,764	312,510,374
2.手数料等	0	940,700
支出合計	33,866,764	313,451,074
本年度収支差額	▲33,866,566	
前年度繰越金	33,866,566	

以上の通り 募金会計終了報告を致します。

平成16年4月19日 六稜同窓会会長 山本次郎

本会計の正確であることを認めます。

平成16年4月19日 六稜同窓会監事 枡田圭兒
六稜同窓会監事 北浦康弘

平成16年度 一般会計【予算】

科目	平成16年度予算
●収入の部	円
1.入会金収入	960,000
2.年会費収入	21,000,000
3.総会費収入	1,250,000
4.寄付金・協賛金収入	1,400,000
5.利息収入	0
6.出版物等売上	200,000
7.130周年記念グッズ売上	1,300,000
8.名簿会計より戻入	592,255
収入合計	26,702,255
●支出の部	
[1] 運営費	11,040,000
1.人件費	2,400,000
2.雑給	2,200,000
3.旅費・交通費	800,000
4.通信費	500,000
5.印刷・事務用品費	1,300,000
6.什器・備品	0
7.会議費	240,000
8.総会費	2,500,000
9.慶弔費	400,000
10.雑費	700,000
[2] 広報費	9,100,000
1.WEB関連費	500,000
2.会報発行関連費（42号）	0
（43号）	3,800,000
（44号）	3,800,000
3.広報全般経費	1,000,000
[3] 全国大会出場援助費	300,000
[4] 各種事業援助金	400,000
[5] 基金会計積立金	0
[6] 教育環境整備援助費	1,000,000
[7] 同窓会館関連費	5,300,000
1.雑給	600,000
2.旅費・交通費	100,000
3.印刷・事務用品費	400,000
4.什器備品・設備費	2,300,000
5.光熱費	1,000,000
6.設備管理費	700,000
7.雑費	200,000
[8] 予備費	2,649,329
支出合計	29,789,329
本年度収支差額	▲3,087,074
前年度年会費前受	▲8,224,000
前年度繰越金	11,311,074
次年度繰越金	0

平成15年度 六稜同窓会 建設会計【決算報告】

（三年度）自 平成15年5月 1日
至 平成16年3月31日

（累計）自 平成12年5月 1日
至 平成16年3月31日

科目	円	円	摘要
●収入の部			
1.募金会計より	33,866,764	312,510,374	
2.基金会計より	0	56,500,000	
収入合計	33,866,764	369,010,374	
●支出の部			
1.設計・工事監理料	4,725,000	28,350,000	アルモフ
2.工事代金	23,220,000	327,720,000	松村組
3.館内備品他	1,846,425	8,008,035	ヴィスコンパニー、アイエス企画、竹藤テック
4.募金名板他	840,000	840,000	篠屋リサイン
5.空調集中工事	336,000	336,000	三晃空調
6.電気設備工事	144,060	144,060	井上電工
7.電話工事代金	0	409,500	サンノーベル
8.陶板移設工事	0	367,500	大塚オーミ陶業
9.印紙代	0	80,000	（松村組）
10.基金会計へ戻入	2,755,279	2,755,279	
支出合計	33,866,764	369,010,374	
本年度収支差額	0		
前年度繰越金	0		

以上の通り 募金会計終了報告を致します。

平成16年4月19日 六稜同窓会会長 山本次郎

本会計の正確であることを認めます。

平成16年4月19日 六稜同窓会監事 枡田圭兒
六稜同窓会監事 北浦康弘

平成15年度 六稜同窓会 名簿会計【決算報告】

（二年度）自 平成15年4月 1日
至 平成16年3月31日

（累計）自 平成15年4月 1日
至 平成16年3月31日

科目	円	円	摘要
●収入の部			
1.販売高	4,544,000	7,432,000	1,832冊
2.広告代	320,000	320,000	
3.一般会計から繰受	592,255	592,255	
収入合計	5,456,255	8,344,255	
●支出の部			
1.名簿印刷代	6,793,500	6,793,500	ソーダン、ユイハ
2.発送費用	855,190	855,190	ヤマト運輸他
3.後納郵便料	194,940	459,420	新北野郵便局
4.返信用封筒印刷	0	235,000	ひかり工房
5.振込料	525	525	
支出合計	7,844,155	8,344,255	
本年度収支差額	▲2,387,900		
前年度繰越金	2,387,900		
次年度繰越金	0		

以上の通り 平成15年度名簿会計報告を致します。

平成16年4月19日 六稜同窓会会長 山本次郎

本会計の正確であることを認めます。

平成16年4月19日 六稜同窓会監事 枡田圭兒
六稜同窓会監事 北浦康弘

平成15年度 府立北野高等学校創立130周年記念事業会計決算書

科目	予算額	予算更正額	予算額計	決算額	増減額	備考
●収入の部	円	円	円	円	円	
1.PTA積立金	5,000,000	36,901	5,036,901	5,036,901	0	
2.PTA賛助金	4,000,000	8,000	4,008,000	4,008,000	0	
3.同窓会協賛金	10,000,000	0	10,000,000	10,000,000	0	
4.祝賀会会費	10,000,000	-4,100,000	5,900,000	5,900,000	0	
5.その他収入(祝会等)	100,000	295,019	395,019	395,019	0	
収入合計	29,100,000	-3,760,080	25,339,920	25,339,920	0	

科目		予算額	予算更正額	予算額計	決算額	差引残額	備考
●支出の部		円	円	円	円	円	
[1] 記念事業費	1.記念誌	2,800,000	-287,090	2,512,910	2,512,910	0	記念誌
	2.記念品	2,800,000	-561,700	2,238,300	2,238,300	0	記念ハガキ 校章
	3.記念事業費	8,000,000	770,236	8,770,236	8,770,236	0	天体観測ドーム 教員室エアコン 植栽
	小計	13,600,000	-78,554	13,521,446	13,521,446	0	
[2] 記念行事費	1.式典経費	1,500,000	-179,535	1,320,465	1,320,465	0	張出舞台 演奏講演エキストラ
	2.式典準備	1,500,000	96,997	1,596,997	1,596,997	0	紅白幕 金屏風 椅子レンタル 映画編集代
	小計	3,000,000	-82,538	2,917,462	2,917,462	0	
[3] 運営費	1.運営費	1,600,000	-293,650	1,306,350	1,306,350	0	バス借上料 案内状 胸花
[4] 祝賀会	1.会場借上料等	1,000,000	-127,211	872,789	872,789	0	イベントホール代 付帯設備使用料
	2.祝賀会	8,300,000	-3,410,675	4,889,325	4,889,325	0	料理飲食代
	小計	9,300,000	-3,537,886	5,762,114	5,762,114	0	
[5] 予備費	1.予備費	1,600,000	232,548	1,832,548	1,832,548	0	古書目録作成費 校内案内板
合計		29,100,000	-3,760,080	25,339,920	25,339,920	0	

上記のとおり報告します。
平成16年4月 5日 大阪府立北野高等学校創立130周年記念事業 実行委員長 中垣芳隆

監査の結果、適正に執行されていることを認めます。

平成16年4月14日 会計監査 寄田和宏
会計監査 桝谷郁子
会計監査 杉本時惠

六　稜　会　館

六稜会館運営委員会報告
委員長：岡田一彦（65期），副委員長：奈木進（66期）、
邑上治兵衛（68期）、壽榮松正信（74期）

2003年11月正式オープン後、日を追って六稜会館の利用は回数も人数も増えています。昨年４月仮オープン後５月より使用開始して、今年７月下旬までの15ケ月間で延べ217回、延べ8430人のご利用がありました。当委員会主催のトークリレーも月１回堅調に続いていますが、会館利用目的のベスト３は先生方や在学生の利用と会員の皆様方の同期会（総会や幹事会）、クラブＯＢ／ＯＧ会です。カルチャー講座や絵画教室も盛会です。ステンドグラスの講座や結婚式場に、などの夢も膨らんでいます。土曜、日曜のご利用が急増していますので、鍵の開閉などのお世話をする運営委員が不足して、嬉しい悲鳴をあげています。お手伝い戴ける同窓生は居ませんか？

[六稜トークリレー]

昨年（2003年）９月から、運営委員会の自主企画として始めました「トークリレー」も、今年の９月で１周年を迎える事になり、この間の11回（１月は休み）の催しも、講演者を各期に亘る幅広い年代の方にお願いし、演題、演目も「楽しく、面白く、文化レベルの高いもの」を標榜し、文芸、古典芸術、音楽、企業経済活動、医学、最先端科学技術、医学界最新事情、自然科学・エコロジー、我が先輩の歴史等々出来るだけ幅広く、偏らない様に試行錯誤を重ねながら手探り状態でやって来ました。

当初から案ぜられていました参加者数も１年を経過し、やっと恒常的に目標の100名を実現出来る段階に達したか、と思われる様になりました。でもこれからも我々運営委員の努力と、皆々様方の絶大なるご協力が必要であります。

講演内容、運営方法等々につきましては、毎回の「アンケート」等によるご意見を参考に常に「よりよきものに」を目指して修正しつつ歩んでおります。

開催日時も当初の第一金曜日から第一土曜日に、飲食物も参加者数の逓増に従い委員側のパワー等も勘案し、飲料のみに致しました。

そしてこの画期的イベントの情報を会員全体に伝達する方法がＩＴ化の時代とは言え、全会員に同時に伝達する事が極めて難しく、委員会としては、講演者の学年を中心に、各学年の学年理事さん等に案内状をお出ししているのが現状です。基本的には「六稜ＷＥＢ＝ホームページ」にアナウンスする事を主とし、「六稜会報」等には必ず掲載していますが、情報伝達については年代によってばらつきがあるのが事実で、伝達手段に差が生じる事が些かネックになっています。

過去１年間の参加者の実態は別記の表に示す通りです。

演題・講演者一覧（２月～７月）

◆【第５回】２月７日
「ＩＴ化時代に生きる」
平野浩太郎（66期）さん

◆【第６回】３月６日
「いま問われる生き物とのつきあい方
～『いいとこどり』はあきまへん！」
中井克樹（92期）さん

◆【第７回】４月10日
「手塚治虫と昆虫」
林　久男（59期）さん

◆【第８回】５月８日
「人生よもやま話
～戦艦陸奥から出た北野中学のバックル」
阿部源三郎（50期）さん

◆【第９回】６月５日
「バーバーショップ♪カルテット・ショー」
カレイドスコープ
（坂口和彦・90期、敏子さん・98期）

◆【第10回】７月３日
「医者の選び方、医療の創り方
～医療現場の舞台裏から」
奥　真也さん（93期）

［10月以降の予定］

・10月2日(土)
「芝居っ気
～ドラマづくりを
通じて想うこと」

64期　土井　陽子
（劇作家）



・11月6日(土)
「建築的瞬間
～球体建築の系譜」

85期　竹山　　聖
（建築家）



・12月4日(土)
（年忘れ★六稜版
「異業種交流会・名刺交換会」併催）
「大阪城で何したん？
～放送の地域貢献度について」

71期　山本　雅弘
（MBS社長）



「シャンソンの夕べ（仮題）」

80期　北岡　　樹
（シャンソン歌手）



［カルチャー講座］

４月よりカルチャー講座と銘うって、68期生が北野時代３年間お世話になった、古文の山崎馨先生、英語の佐野哲郎先生にそれぞれ講義を戴くことになった。開講より65,71,74の各期、さらに同窓生外の方々も参加され、毎回70名近い受講生が六稜会館3Fホールをにぎわしている。

山崎先生は20年近く前から万葉故地を訪ねるバス旅行を始めて下さった。第1回は余呉湖、そして奈良飛鳥、吉備路も巡った。先生の古希と68期生の還暦を祝い、唐の長安(西安)にも遣唐使の足跡を訪ねた。その後、五島列島、対馬、さらに万葉北限(東北松島に近い黄金山神社)，また南限(鹿児島の黒の瀬戸)と、先生との旅は12回になる。

一方、佐野哲郎先生が長年携わって来られたアイルランド文学のお話を聞くにつれ、その地を訪ねる旅をと、先生以下一同39名が参加するアイルランド旅行が一昨年催され、かの地の人達の人柄、風土に大きな感銘を得た。

そして、そのそれぞれの集いがベースとなり六稜生としての知的好奇心が、このカルチャー講座開催のきっかけとなった。

六稜会館運営委員 68期 邑上治兵衛

☆　山崎馨先生の「万葉集に親しむ」は万葉集の概要から始まり、いま大伴家持の歌を中心に、ロマン溢れるお話が続いている。先生に「この講義は1年間ですか」とおうかがいすると「1年間では終わらないでしょう」とのこと、ますます楽しみが続くようです。

(68期担当　廣瀬貞雄)

☆　佐野哲郎先生の「ケルトの神話を語ろう
日本・ギリシャと比べながら」は神話の定義から、各国に語り継がれる話の共通性、そして他民族の文字を使い記録されて来た経緯や、英雄、豪傑、恋愛等々の話が進行中。これからますます佳境。子供の頃、祖父が話してくれた昔々の寝物語を聞いている心地よい講義である。

(68期担当　谷川十三夫)

六稜会館利用状況

人数(件数)

	OB クラブ	同窓会	同期	見学	リトレーク	教文室化	勉強会	利用学校	計
2003年5月	94(3)			33(5)					127(8)
6月	20(1)	111(5)		10(2)				40(1)	181(9)
7月	30(1)	67(3)						60(1)	157(5)
8月	70(1)	58(4)							128(5)
9月	4(1)	51(4)			37(1)	17(2)		96(3)	205(11)
10月	5(2)	272(6)			27(1)	28(3)		40(1)	372(13)
11月	525(4)	530(7)		52(3)	40(1)	15(2)		335(8)	1497 (25)
12月	12(2)	14(1)		3(2)	48(1)	16(2)	50(1)	163(5)	306(14)
2004年1月		35(1)		1(1)		36(4)	24(2)	220(6)	316(14)
2月		21(2)		2(1)	68(1)	36(4)	25(1)	1390 (9)	1542 (18)
3月	18(2)	46(2)			62(1)	18(2)	110(2)	20(1)	274(10)
4月	11(1)	50(1)		1(1)	59(1)	31(4)	40(1)	130(3)	322(12)
5月	104(4)	217(5)		1(1)	40(1)	32(4)	120(2)	180(3)	694(20)
6月	115(6)	95(3)		51(2)	165(1)	28(3)	180(3)	49(5)	683(23)
7月	75(2)	201(6)			114(1)	22(2)	120(2)	1094 (17)	1626 (30)
合計	1083 (30)	1768 (50)		154 (18)	660 (10)	279 (32)	669 (14)	3817 (63)	8430 (217)

[碁盤御寄贈]

六稜同窓会では昨年11月、故 中條敏雄様（55期）のご遺族から基盤と碁石５セットの御寄贈を受けました。55期の皆様で中條様宅を会場に囲碁の会を楽しんでおられたセットとのことです。今これを契機に69期が月例囲碁の会を土曜日午後（不定期）に楽しんでおられます。11月６日には78期との対抗戦を開くそうです。在校生にもこれを使ってもらえるようにしています。

紙面を借りて中條敏雄様のご遺志を踏まえて貴重なご遺品を寄贈いただきましたご遺族様と55期関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。



事務局より

事務局長　岡田一彦(65期)

本年４月１日から発足いたしました山本次郎新会長(62期)以下常任理事と各委員会の構成は４頁の通りです。六稜同窓会の目的は、会則にも明記されているごとく、「会員間の親睦をはかり、母校の発展に寄与し、あわせて、社会公益に貢献すること」であります。この基本原則に基づいて各委員会は活発な行動を起こします。事務局も各委員長さんに協力して微力を尽くす所存です。会員の皆様がたのご理解とご協力を切にお願いします。

なお常任理事会と理事会は年間予定を下記のように設定しました。これは役員の皆様のご出席を少しでも容易にしたいためです。

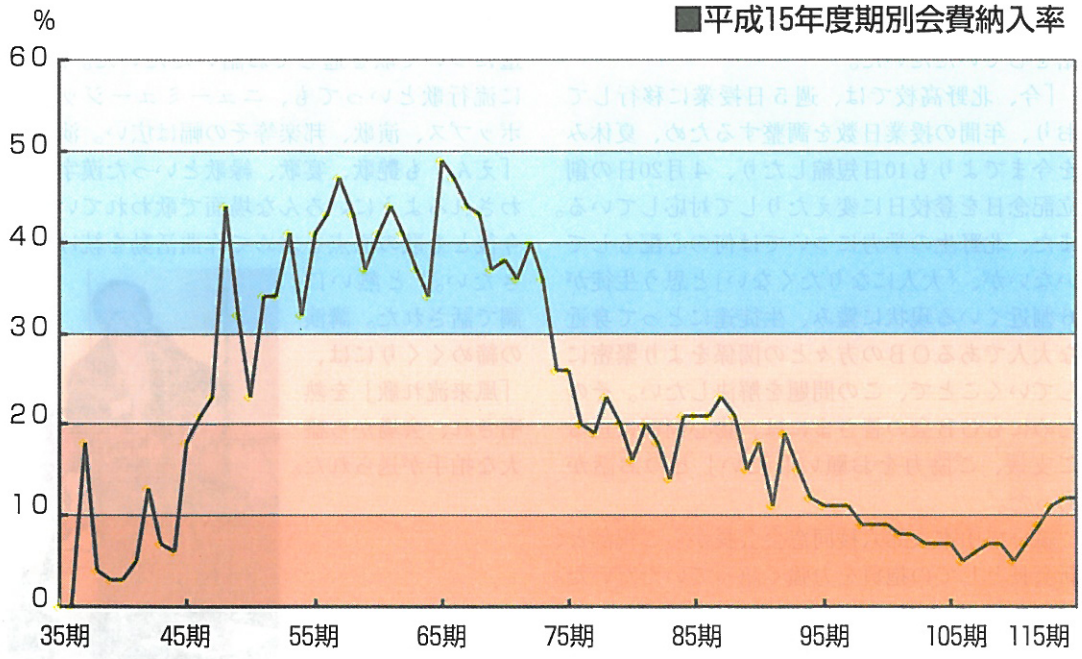
16年８月28日(土)　常任理事会（開催済）
10月23日(土)　常任理事会・理事会
10月31日(日)　六稜同窓会総会
12月18日(土)　常任理事会
17年２月19日(土)　常任理事会・総会
４月23日(土)　常任理事会

なおご挨拶が後になりましたが、前事務局長の新原章弘さん（65期）が昨年11月末でご退任されました。本年4月から岡田一彦（65期）が事務局長、久保田静（73期）が同次長を務めています。どうかよろしくお願いします。

[事務局からのお願い]

六稜同窓会の活動はすべて会員の皆様方からの年会費3000円によって運営しています。平成15年度における皆様の卒業期別の納入実績は下表のとおりです。

これを見ていただきますと、74－75期（昭和37－38年卒業）を境にして会費納入率が低下していることがお判りいただけると思います。この会報も年会費の納入の有無に関わらず約24,000人の全会員にお送りしています。一方年会費を納めて下さっている会員は約7,000人に留まっているのが現状です。どうか会員の皆様、忙しい！忘れた！等などいろいろ言い訳はあるでしょうが、年会費3,000円の納入を同封振替用紙にてお願いします。



東京六稜会

第47回総会のご報告

東京六稜会第47回総会が６月３日（木）、千代田区丸の内、皇居お堀端にある東京商工会議所ビル８階「東商スカイルーム」で開催された。

出席者は150名にのぼり、大阪から、ご来賓として母校校長（六稜同窓会名誉会長）の中垣芳隆先生、加藤悦子先生(85期)、六稜同窓会会長の山本次郎氏(62期)、六稜同窓会事務局長の岡田一彦氏(65期)、総務委員長の木村市三氏（73期)、広報委員長の富田昌宏氏（78期)、そして事務局の久保田静さま（73期）にご出席いただいた。

全体進行は、当番期である85期生（昭和48年・1973年卒業）が担当した。

第一部◉総会

午後６時、定刻どおりに第一部総会が開始された。

まず、大山利雄東京六稜会会長（56期）による開会ご挨拶および東京六稜会役員改選についてのご説明があり、新会長に志甫溥氏(66期)が推挙され承認された。新会長に就任された志甫氏のご挨拶の後、中垣芳隆北野高等学校校長に、ご祝辞と北野高校の近況について次のようなお話をしていただいた。

「今、北野高校では、週５日授業に移行しており、年間の授業日数を調整するため、夏休みを今までよりも10日短縮したり、４月20日の創立記念日を登校日に変えたりして対応している。また、北野生の学力については何の心配もしていないが、「大人になりたくない」と思う生徒が６割近くいる現状に鑑み、生徒達にとって身近な大人であるＯＢの方々との関係をより緊密にしていくことで、この問題を解決したい。そのためにもＯＢ会の皆さまには、物心両面に亘るご支援、ご協力をお願いしたい」とのお話があった。

続いて山本次郎六稜同窓会会長からご祝辞と、新会長としての抱負を力強く語っていただいた。

その後、黒岩暎一事務局長(75期)から、平成15年度会計報告原案ならびに顧問および常任幹事の改選について説明があり、原案通り満場一致で承認された。なお、司会は85期の谷藤慶一氏が担当した。



大山利雄東京六稜会会長



志甫　溥東京六稜会新会長

第二部◉記念講演

「歌とともに」と題して、作曲家としてご活躍中の大谷明裕氏（85期）にギターの弾き語りと講演をしていただいた。

冒頭、小林旭さんのために曲を作られたという「からす」をギターを弾きながら歌われ、「昔のカラスは七つの子などで歌われたように子供にも親しみやすい鳥であったのに、今では町の嫌われ者の代名詞になっている」、と世相の変遷について歌を通してお話いただいた。「一口に流行歌といっても、ニューミュージック、ポップス、演歌、邦楽等その幅は広い。演歌の「えん」も艶歌、宴歌、縁歌といった漢字で表わされるようにいろんな場面で歌われている。今後とも歌の原点を求めて作曲活動を続けて行きたい。」と熱い口調で話された。講演の締めくくりには、「風来流れ歌」を熱唱され、会場から盛大な拍手が送られた。



第三部●懇親パーティー

85期の古平真氏と安原（旧姓佐藤）富美子さんの司会進行でにぎやかに催された。

まず、参加最年長の佐藤弘氏（49期）のご挨拶と乾杯の発声で幕が開き、しばし歓談の後、母校で教鞭をとられている加藤悦子先生（85期）、六稜同窓会事務局長の岡田一彦氏（65期）にご挨拶をいただいた。

また、この４月に東京方面の大学に入学された新会員にも自己紹介と今後の抱負を語ってもらった。

その後、受付で配布された校歌の歌詞カードの番号による「くじ引き大会」が行われ、最新のゲーム機や高級シャンパン等、多数の賞品が当選者に贈られた。当選者には一言スピーチをしていただき、そのスピーチにちなんでまた賞品が当たるなど、先輩、後輩入り混じって、会場中大いに盛り上がった。

最後は、母校元応援部団長・竹村二郎氏（73期）の指揮の下、校歌「六稜の星」を全員で５番まで謳い上げ、長く東京六稜会の会長を務めていただいた大山氏に感謝のエール、新会長に就任された志甫氏に激励のエールが送られ、幕を閉じた。

次回総会は、平成17年６月２日（木）午後６時から、装いも新たになった「日本工業倶楽部」で開催される予定である。





東京六稜会役員（平成16年６月３日現在）

会長　志甫　溥（66期）	蛭川　克（71期）
顧問　大山利雄（56期）	竹村二郎（73期）
常任幹事	深山欣秀（74期）
山元一夫（64期）	黒岩暎一（75期）
東京六稜倶楽部事務局	事務局
山根義夫（65期）	清水知子（75期）
今田　弘（66期）	前川清行（77期）
高端正直（68期）	藤村吉男（84期）
大谷昌平（69期）	事務局補佐・会計
石垣具子（69期）	谷藤慶一（85期）
松本邦宏（70期）	中山浩之（98期）
東京六稜倶楽部事務局	会計

東京六稜倶楽部

毎月第３水曜日、銀座ライオン７丁目店６階ホールで開かれている東京六稜倶楽部では、２月～７月に以下のような活動が行われた。

【第14回】２月18日

「安心した老後のための相続を考える」

北沢一男氏

（住友信託銀行　主席財務コンサルタント）

【第15回】３月17日

「放送とは何か～テレビ放送開始50年に当たっての新たな構想」

山本雅弘氏・71期（毎日放送　社長）

【第16回】４月21日

「年金の話～あなたの年金額は正しいかどうか点検」

増田　勝氏（厚生年金基金連合会　審議役）

【第17回】５月19日

「日本の卵の黄味はなぜ黄色か～畜産業界の裏話」

長谷川秀夫氏・69期

【第18回】６月16日

「俳句の楽しみ」

大隅徳保氏・65期（俳句結社「門」同人）

【第19回】７月21日

「痴呆と不安と性格と」

畑田耕司氏・68期（はただ診療所所長、鶴川さくら病院～老健・町田さくらんぼ理事長）

東京六稜会「東京六稜倶楽部」事務局：
山元一夫・64期、松本邦宏・70期
時間：11:30～14:00（開場11:00）を予定
場所：銀座ライオン７丁目店　６階「ライオン銀座クラシックホール」（銀座・松坂屋隣）
Tel. 03-3571-2590　　会費：2,000円

六　稜　天　文　台

昨年の会報でお知らせしました「天体望遠鏡」は、昨年10月10日、新校舎の屋上に設置されました。その日、寄贈された71期石川勇さんから中垣校長に望遠鏡の鍵が贈呈され、ドームと共に大型クレーンにより持ち上げられました。

その間、吹奏楽部による「鉄腕アトム」の曲が吹奏され、数多くの生徒諸君の拍手の下、石川さんの満足げなお顔が印象的でした。

屋上でしっかりとボルト止めされた望遠鏡で、地学部員をはじめとする生徒諸君の歓声がわきあがりました。

戦後まもなく、当時の高校としては最大級の30センチニュートン型反射望遠鏡が昭和校舎の屋上に導入され、六稜生の進路にも大きな影響を与え、多くの天文関係学者を輩出しました。しかしこの望遠鏡はドームが無かったこともあり、昭和50年代に鏡が破損、使用不能になってしまいました。

望遠鏡は本体だけでなく、ドームやコントロール装置が必要です。これについても、130周年記念事業や地学研究部ＯＢをはじめとする数多くの方々のご協力をいただき、ドームはもちろん、自動導入装置や撮影装置などの付属品も揃いつつあります。お陰さまで大阪市内では一番大きい望遠鏡が出来上がり、30センチ望遠鏡の時と比べ格段に使いやすくなりました。肉眼では見えにくい星も楽に捉えることができます。

この望遠鏡の性能を充分活かす運用には、まだまだ時間がかかると思います。しかし、若い後輩たちに限りない夢を与え始めています。地学担当教員を中心に、今後ますます有効な利用への取り組みが動き出しています。

現在、地学やＳＳＨ（スーパーサイエンスハイスクール）の授業、地学研究部の部員を中心にしたクラブ活動などで活用をしています。また、中学生の見学者にも公開され、次世代の六稜生の養成にも効果を上げています。 10月になりましたら、日の暮れるのも早くなります。その頃に観測会を予定していますので、一度望遠鏡をのぞいてみようと思われる方は是非参加



晴天に恵まれたこの日、鍵の贈呈の後、石川さんの思い入れのお話があり、200人ほど集まった生徒諸君、教職員に大きな感銘を与えました。



ＵＦＯ襲来ではありません。望遠鏡設置の後、ドームが設置されました。この設置費用は130年記念事業の一部が用いられました。

してください。今年の秋は、大きな天体ショーもありませんが、下記ＵＲＬに詳細を掲載する予定です。

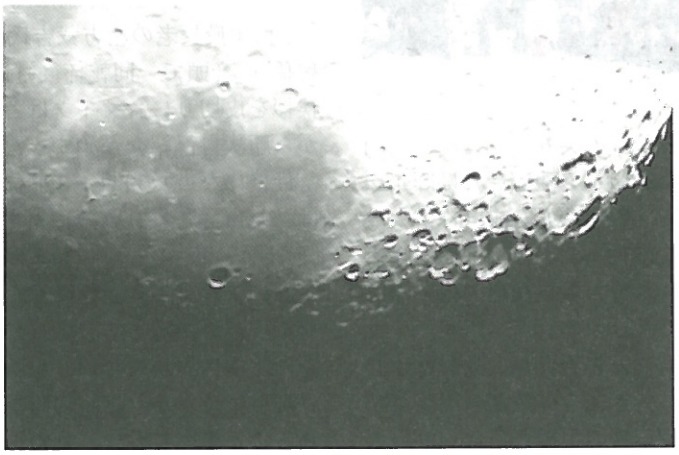
ホームページ

http://www.ne.jp/asahi/koto/buki/rikuryo/tenmon/index.htm

日程は、六稜トークリレーの行われる、10月２日（土）、11月６日（土）を予定しています。当日の天候などによる実施の可否についても、上記ホームページを参照していただくようお願いします。



10月下旬に行われた、ファーストライトで、始めてみる宇宙に感激する生徒。



初めての写真撮影です。月の表面がきれいに出ています。

架台に記された銘文

MESSAGE
君たちは、無限の可能性を持っています。この望遠鏡で宇宙の限りない広がりと美しさ、天体の神秘に接してください。そして、幾億光年という空間の中の地球の存在を思索してください。君たちはそこに、生命の尊さとよろこび、人類の平和と連帯することの大切さ、時間の貴重さなどを発見することでしょう。あらためて、青く輝く星、私たちの地球について考えてください。君たちの創意と工夫で、素晴らしい未来を拓いてください。

2003.11.1

手作り望遠鏡　ＩＫ－51π
製作寄贈
石川　勇（第71期卒業生）
協　力
元北野高校地学部員　有志

主　要　諸　元

IK－51 π 諸元
Optical Reflecting Telescope

光学形式	Classical Cassegrain-System
主鏡有効口径	φ510mm　R=3198mm
	FI=1599mm　F=3.14
凹放物面	鏡面精度：λ／12　硝材：Sital
	φ=516×80mm
副鏡有効口径	φ160mm　R=351.1mm
凸放物面	鏡面精度：λ／10
	硝材：Sital　φ=165×30mm
合成焦点距離	1599mm×引伸率M(1537／482=3.19)
	＝5099mm
合成光学Ｆ比	C・F=10.0　合成光学精度：λ／8(λ=6370Å)
受光力	5308倍
分解能力	0.21秒角
架台型式	ドイツ型赤道儀
	新ディスク・オイルフリクション制動方式
天体自動導入	
追尾駆動方式	改Skysensor／IKTUパルス無線導入２系追尾システム

PARTY REPORTS

通期行事（六稜人すべてが参加できる行事）、同期会、各種行事のジャンル別に掲載しています
（同期会は期順、それ以外は開催日順）。

［通期行事］
観梅会（２月28日）



３月に入ってからの寒の戻りを思えば、天国のように暖かだった2004年の観梅会には昨年に引き続き100名近くの参加者が午前11時に大阪城梅林公園記念碑前に集った。恒例の記念撮影と校歌斉唱が行われた後、各自満開の梅の美しさやその香りを愛でた。

12時には宴の会場ＫＫＲホテル大阪14階オリオンの間には昨年に引き続き70数名の出席者が集まった。出席者最年長の中橋正衛氏(43期)の音頭による乾杯で宴会が始まり、久保田静さん(73期)と岡田一彦次期事務局長(65期)との司会のもと、新原章弘前事務局長(65期)や出席各期による挨拶が行われ、最後に神宅寿昭氏(67期)のリードで再び校歌斉唱した後、来年の観梅会での再会を約して本年の会も無事終了した。次回は平成17年３月３日（木）の予定です。

（壽榮松正信、74期・今城文雄、78期）

北中記念碑の集い（４月20日）



前夜来の雨も止み、すっきり晴れ上がった当日11時、済生会中津病院玄関前の「北中記念碑」の前に18代校長村田義人氏を初め卒業生34名が集合した。この記念碑は、今から19年前の1985年に母校創立112周年を記念して、当時(1902年～1931年)校舎のあった北区芝田2丁目のこの地に有志の手で建立されたが、1999年に病院の増築工事に伴い、整備された前庭の現在の場所に移設された。石碑の下には当時の名簿や学帽など想い出の品がセラミック製のタイムカプセルに詰め込まれて埋蔵されているという。

記念碑の横で全員記念撮影後、岡田新事務局長の指揮で「北野中学校校歌」を声高らかに歌い上げて、全員は懇親会々場へ移動。

11時半頃開宴のサンルートホテル２階「太陽の間」での懇親会は、岡田事務局長の司会のもと、先ず最長老の緒方裁吉氏(37期、緒方洪庵の曾孫)の音頭で一同乾杯後、村田義人元校長のご挨拶を皮切りに、マイクは各円卓に廻り若い期から順次自己紹介が始まった。

最後になった30期、40期代の諸先輩方のお話は、お声も若々しいのに先ず驚いたが、年輪を経た言いようのない味わいが醸し出す一言一句が身に沁みるよう。往時私たち女学生の憧れの的だった『白線一本に六稜の徽章の学帽・黒鞄姿の北中生』が、今同じ場所で会してるのも不思議な気持ちがした。何時までもお元気で居られることを念じつつ、私たち後輩も「北野」の名を汚さぬよう頑張らなければと心に誓った。

終りに全員輪になって手を繋ぎ、再度「北中校歌」を楽しく歌い合い、和気藹々のうちに散会。

（河渕清子、64期）

六稜期別対抗ゴルフコンペ（７月19日）

三田カントリー27で六稜期別対抗戦のゴルフコンペが66期～88期の総勢113名（内女性８名）で挙行された。

72期は団体戦では過去３回優勝しているが、今回は将棋にたとえれば飛車と角を欠く状態だったので、同期の10名は無欲に近い状態で個人プレーに専念した。炎天下にも拘わらず全員無事に投了し、気楽に成績発表を待つうちに、何と72期の団体優勝が一段と声高に読み上げれた。一同思わず「ヤッター」の歓声を発した。

ダブルペリアの点数で、期別の１位・２位・３位・５位・７位の合計スコアで364.8点の得点であり、第２位の宿敵71期を2.6点差で軍門に下した。その貢献者は西森文彦君（準優勝）、丸山英敏君（７位）、南尚三君（10位、本人もビック

リ）、坂野勝彦君（26位）、棚橋成伍君（56位）の５名であり、40位の僕は何も関与していないのにも拘わらず、目下ところ９月19日の同窓会幹事を引き受けている余録で、栄えある優勝カップや賞品の授与、そして団体優勝の挨拶までさせて貰った。

63歳にもなれば、体力や気力が段々に衰えていくものだが、期別対抗戦でまだ頂点に立てることを、我が事の如く嬉しく思えた。次回は飛車も角も揃えて、71期の通算５回優勝の牙域に肉迫しようと思う。

こうして金とヒマと健康に恵まれて、優勝まで出来たことを心より「お神さん」に感謝申し上げる次第である。　　（上野 弘之、72期）

［同期会］

62期同窓会（６月５日）

開会に先立って適宜「新六稜会館」に集まり、募金に協力した人々の「ネームプレート」や周辺整備が完了した会館を見学した。十三「プラザ・オーサカ」での総会・懇親会には約50名の同窓生が出席した。恒例の卓話はこの度「六稜同窓会長」に就任した山本次郎君が「長い間の弁護士としての経験談」や「同窓会館の建設などの思い出話」を話された。また学年理事の加藤知彦君より「同窓会費」の納入アップについてのお願いなどがあった。懇親会では、乾杯の音頭を取った佐藤功君より山本新会長への激励の言葉があり、また桑畑禎文君はじめ久しぶりに出席した人々から近況報告などもあり、賑やかに懇談の輪が繰り広げられた。最後に浜吉正章君と吉栖勇君二人の音頭で応援拍手と校歌合唱をし、来年の再会を約して散会した。

65期同期会（６月５日）

新大阪駅前ワシントンホテルにて、恒例の年１回65期の同期会が開かれました。北海道・関東・中部・・・全国から集った同期生93名、稲葉、山崎、関谷三恩師もお元気なお姿を見せて下さいました。昭和28（1953）年卒業の65期は卒業20周年から同期会がスタートし、５年毎に１泊旅行で同期会総会を楽しんで参りましたが、加齢と共に、「後何回元気で集まれるのか？」が心配の種となり５年先が待ちきれず、毎年１回６月５日を含む週の土曜日に最近は集まっています。

今年もホテル隣接の「宝島」における二次会も含め大いに盛り上がりました。65期はサラリーマンに時間的余裕のない時代は自営業の人が同期会のリーダーになってくれ、今はは元サラリーマン達がバトンを担って隆盛に活動しています。

71期・卒業45年記念祝賀会（５月22日～23日）

北野高校卒業45年記念祝賀会を、兵庫県淡路島の南淡路ダイワロイヤルホテルにて開催しました。

前回、40年記念祝賀会は平成11年６月に京都の全日空ホテルにて開催し、還暦祝い会を平成13年３月に有馬グランドホテルにて開催してきました。５年毎に、全国組織で開催する趣旨ですすめてきておりますが、毎年春は大阪で懇話会を、秋は東京主催で懇親会を開催しております。

今回、45年記念祝賀会には、70名が参加されました。スリランカから帰国した山中氏、北海道から山原氏、九州から谷山氏、四国から芝藤さんと初めて参加、遠方からと参加され盛り上がりました。総会の席で、村上高兒氏の黄綬褒章受賞の報告があり参加者でお祝いをしました。総会、懇親会の後、部屋とラウンジで二次会を開き、夜遅くまで昔話で盛り上がりました。

翌日、ゴルフ組16名は花屋敷ゴルフクラブ（よかわコース）へ、観光組32名は観光バスで鳴門観潮・野島断層・淡路夢舞台へと、その他自由行動に分かれ次の50年の再会を約束してホテルを後にしました。　　（岸本博充、71期）

［各種行事］

大フィル大植氏、オーケストラ部を指導（４月18日）

大阪フィルハーモニー交響楽団音楽監督の大植英次さんに北野高校オーケストラ部がご指導いただきました。



当日の４時から校内の多目的ホールで行われた同イベントは公開で行われ、保護者や本校生徒などの多数の方に来ていただ

きました。会場にはテレビ局やラジオ局も取材に訪れていました。大きな拍手に迎えられて登場した大植英次さんは陽気に挨拶をされた後、オーケストラ部にベートーヴェンの「エグモント序曲」を指揮しながら指導してくださいました。

大植さんは終始エネルギッシュな素振りで熱心に指導され、時にユーモラスな表現で会場には笑いがおこるなど、とても面白いレッスンでした。オーケストラ部も最初はかなり緊張でガチガチの状態でしたが、大植さんの指導に入っていくうちに緊張もほぐれていくようでした。大植さんの指導で本当に全体がガラっと変わってしまうオーケストラに不思議さや色々な可能性を感じ、あらためてオーケストラの面白さを再認識しました。レッスン終了後、大植さんのサイン会が行われ、長い行列ができオーケストラ部員や見学に訪れた本校生徒が次々と楽譜や楽器のケースなどにサインをしてもらいました。最後にはオーケストラ部と記念撮影をしてイベントは終了しました。終了後、大植さんや先生方、オーケストラ部員もインタビューに答えていました。

この曲で指揮を担当する僕にとって、このレッスンで指揮という範囲にとどまらず音楽全体において非常によい勉強となりました。なかなか指導してもらえる機会の少ないオーケストラ部にとっては本当に貴重な時間となりました。今回のレッスンが実現したのも、同窓会の先輩方や先生方のお陰でした。ありがとうございました。

※この模様は、テレビ大阪『桂小米朝のハートフル大阪』・NHK教育『トップランナー』で放映されました。

（作山哲平、オーケストラ部・２年生）

なにわことばのつどい～第22回総会 おばあちゃんから聞いた大阪辯（７月28日）

恒例「なにわの日ぃ」総会が「七月二八日」18時半より、今年も谷町６丁目の薬業年金会館３階講堂で開催された。レギュラーゲストに「船場を語る会」主宰の三島祐一氏（60期/“船場を語る会”主宰/四天王寺国際仏教大学名誉教授）、日本ペンクラブ会員の井澤壽治氏のお二人。

『第一部』は“なにわことば代表世話人”中井正明さん(64期)の挨拶の後、レギュラーゲストお二人の3分間卓話に引き続き、ホンモノの「船場ことば」のお手本として、地唄箏曲の人間国宝 菊原初子さんが、亡くなる前(100歳)英国BBCの取材を受けてお話をされた時のビデオ映写（抜粋）があった。「芸論」に「人生観」を織り交ぜた雅味のある流暢なお話しぶりは、お歳を感じさせないばかりでなく、「なにわことば」の真髄に触れる思いがした。全編を通して聞けなかったのが心残りだったが…。

道修町の少彦名神社参道にある「春琴抄の碑」の文字は彼女の筆になるものだが、その翌年に亡くなられこれが絶筆となっている。

『第二部』は本日のメイン「おばあちゃんから聞いた大阪辯選定大会」が友成光吉氏（なにわことばのつどい顧問）の司会・進行で始まった。あらかじめリストアップされた大阪辯の単語(「七二八」28号に掲載)がいろは順に各2～6語。それを順番に検討しながら、それ以外の「なにわことば」を思いつくまま発表、会場の全員で論議・選定して行くという趣向。「うちのおばあちゃんが使ってたことば」があちこちから声が飛び、場内はなにわムード一色。「いや、それは河内辯や」「それは共通語」「それは造語」などなど「なにわことば」としてのお墨付きもなかなか厳しい。最後の「…ゑひもせすん」まで到達するには遂に時間が足らず、続きは次回に引き継ぐことになった。

また「間違った大阪辯の使い方」の一例として、今回はテレビコマーシャルの「くっさないマイルドセブン」が取り上げられた。「くっさ」は単独の大阪辯で「くっさない」とは活用しないから明らかに間違いである。

終わりに三島氏は、あるフランス人も云っていたが、今の日本人は外来語を使い過ぎである。古いものをどんどん壊して新しい語を使っている。日本のイメージが崩れていくようで残念…と。言葉は文化である。古き昔の「ことば」を懐かしむだけに留まらず、失われて行く文化を再認識して未来に伝えて行くことこそ重要ではないだろうか。と結ばれた。

最後に中井さんの打つ拍子木に合わせて一斉に「正調・大阪手打ち」で締めてお開きとなった。散会21時。

（河渕清子、64期）

[行事予告]

佐伯祐三展

北野30期生の天才画家佐伯祐三の展覧会が開催されます。

「大阪市立近代美術館(仮称)
心斎橋展示室開設記念
佐伯祐三展―熱情の巴里―」

主　催：大阪市教育委員会
(近代美術館建設準備室)他
会　期：10月9日(土)～12月12日(日)
午前11時～午後7時
(入場は午後6時30分まで)
休館日　毎週水曜日
ただし10月17日(日)は臨時休館、
11月3日(水・祝)は開館
会　場：大阪市立近代美術館(仮称)
心斎橋展示室
大阪市中央区南船場3-4-26
出光ナガホリビル13階(旧出光美術館)
観覧料：一般500円/高校・大学生300円
※この六稜会報持参で
団体割引扱い・100円引
出品内容：近代美術館(仮称)
所蔵佐伯祐三作品 約50点、資料 約10点、ほか





母校所蔵:ノートルダム
(マント・ラ・ジョリ)
を出展、特別展示

高木和弘ヴァイオリン・リサイタル

「Un　rêve～夢～Vol. 2」
ピアノ：松村英臣
11月11日(木)19時開演、東京・サントリーホール
11月14日(日)14時開演、大阪・いずみホール

54期・東京互志会

11月13日(土)　ニュートーキョー桃杏楼

[六稜人短信]

植松治雄氏（62期）が、本年４月日本医師会会長に就任した。植松氏は、大阪大学医学部・大学院を修了後、同医学部教官を経て，1965年より開業し、1984年から６年間堺市医師会長、1990年からは大阪府医師会長を歴任。

[六稜会館に故水鳥先生の時計]

大正15年から昭和24年まで、北野中学校時代24年間にわたって、英語の先生でおられた水鳥喜平先生の御遺族から同窓会に先生の御遺志として高額な御寄付をいただきました。そこで常任理事会で検討の末、高級置時計セイコーエムブレムＨ W533Ｂ(高さ1680× 幅489× 奥行285mm、重さ24kg）を購入し、六稜会館１階サロンに置かせていただきました。この時計はいわゆる「お爺さんの古時計」を模した家具調の大型時計でチャイムで時を知らせてくれます。

あたかも故水鳥先生が、後輩の先生方、卒業生や在校生を温かく見守ってくださっているように思えます。　（岡田一彦，64期）



六稜文庫

六稜人の著書紹介

『ルポ解雇―この国でいま起きていること』

島本　慈子(82期)

(岩波書店)

なんとなく「日本は解雇に厳しい国」と思っている人はまだ多いと思うが、本書を読むと、それは幻想なのだと思い知らされる。虚偽の理由で人のクビを切るなどということは許されないはずだが、現実にはそのような不公正な解雇が頻発しているという圧倒的な事実を突きつけられるからだ。

本書は2003年の通常国会で成立した労働基準法改正案に関して、改正の最大のポイントであった「解雇ルール」新設をめぐる舞台裏、横行している不当解雇の実態、働く側に過酷な負担を強いる労働裁判の現状などをていねいな取材によって報告したものである。

著者の島本氏は、理不尽な不当解雇に泣き寝入りすることなく裁判を闘ったごく普通の方たちが皆、「自分の誇りを守りたかった」と語ったことに、はげしく感動したという。そして「〈人〉そのものである労働力を、単なる商品として扱うことは無理なのだ、ということを強い立場にある方々にもわかってほしい」と願いをこめて書いている。

この10年あまり、規制緩和推進の流れのなかで、政府は企業が雇用調整をしやすいように不安定雇用を増大させてきた。2004年の通常国会では、やはり１年前に成立した有事法制を具体化する関連7法案が可決された。ある社会全体の自由が確保されるためには、職場でものを言う自由が確保されているかどうかが大きな鍵となる。「誇り」を守ることが難しい社会になってしまうのは、どうしてもいやだから、そのことを考えるためにも、より多くの方に読んでいただけたらと願っている。

［岩波書店編集部　太田順子］

『「在日」の言葉』

玄　善允（81期）

(同時代社)

はじめ、とっつきが悪くてなかなか前に進めません。でも辛抱して読んでいくうちに、彼独特のいいまわしのせいなんだと気がつき、それはパターンというより”リズム”のように組み込まれていると感じます。それに乗りさえすれば彼の表現上の個性がありありと浮かび上がってきます。

心の奥底でふさふさ揺らぐ情の襞、その一枚たりとも残さず、丁寧に、しかも正確に揉みしだき、労わるように描いています。はなびらを何枚も何枚も重ねて華を編み、さらにはなびらの一枚一枚のふちを染めつけていくかのよう。文章にきらびやかさを感じます。強い個性のリズムを感じました。

描かれているのは個の情というより、やはり根深い民族問題だと思います、この日本国内に厳然と存在する少数民族問題です。自らをこの地上の一番低いところにまで落としめて、さらには、自身の心の一番低い位置、つまり原点にまで下って、美しく飾ることを一切拒否し、心のあるがままを描くうちに浮かび上がってくるものとは・・未来、子供達の未来、民族問題を抱えるこの日本社会の未来、未来につなげる希望であるように思います。

「私」の心情をここまで描きつくした物書きを僕は他に知りません。

あちこちの大学でフランス語を教えるかたわら、民族問題が個々の人間に刻印する何か、或いは、「市民とは何か」に深くこだわるなかで紡がれた「不安と防衛」「集団の表象と権利意識」「人質になっている気分」などの固めのエッセイ群、それとは趣を異にし、中年の屈託と悦びを執拗に探求しながらも自虐の色が濃い「サイクリングと死者を弔うこと」「中年の受難と自転車」「市民社会と酔っ払いの夢」などの、笑っていいのか悲しんでいいのか分からないエッセイ群なども、あちこちの雑誌などに書いておりま

す。いつか本としてまとめて出版されるのを期待したいものです。

我々、高校時代からの友人としては、硬派の野球少年だった彼の酒飲み中年への変貌と彼の書き物との絡み、隠れていた（或いは努力の末に彼が勝ちとった？）文才を垣間見るだけでも、けっこうおもしろい。

［81期　新井輝男］

『ノーサイドの笛―わがラグビー讃歌』

遠山靖三(62期)
(慶応義塾大学出版会)

慶応大学ＯＢでスポーツ記者をつとめた著者が資料を蒐集しまとめた随想集。

あなたの著書を、
ぜひご寄贈ください!!

六稜会館の竣工に伴い、会館運営委員会では六稜文庫を創設することになりました。これまでにも同名の文庫が存在していたのですが、同窓会として公式に受け入れ作業が継続事業として行われて来なかったため、母校図書館の校史資料室の一角で静かに眠っていた…と聞いています。

書架が整うまでの間、しばらくダンボール箱に収納して、会館地下の収蔵庫に一時保管されていた六稜文庫ですが、2004年７月末、ついに待望の「六稜文庫用書棚」(幅180×高180)が会館一階ロビーの西南角に設置されました。

目下、六稜文庫の「貸出規定」を検討中で、会員をはじめ、先生方・現役生が自由に閲覧できる日も近いことでしょう。

なお、ご寄贈いただいた方々に、この場をお借りしまして、改めて厚くお礼申し上げます。

六稜文庫担当　河渕清子(64期)



寄贈図書

◆上田伊一郎(58期)『商人卯兵衛奮闘記』(文芸社)
◆池田萬助(60期)他『日本の御人形』・『上方の愉快なお人形』(淡交社)
◆遠山靖三(62期)『ノーサイドの笛―わがラグビー讃歌』(慶応義塾大学出版会)
◆河渕清子(64期)編『復刻・留魂録―大池小学校六年五組の昭和二十年』(留魂録製作委員会)
◆土井陽子(64期)『舞い舞い虫　独り奇術』(編集工房ノア)
◆稲葉稔彦(67期)『痴呆の母に感謝して』(シイーム出版部)
◆岸本嘉名男(68期)『四季巡る―岸本嘉名男詩集』(竹林館)
◆大槻博(73期)『英語の質問に答える』(旺史社)・『英国中世後期の社会―言語、文学、教育、科学―』(燃焼社)・『日本語成句・用語ルーツ事典』(北星堂書店)
◆

◆玄　善允(81期)『「在日」の言葉』(同時代社)
◆松岡憲司(81期)『風力発電機とデンマーク・モデル―地緑技術から革新への道』(新評論)
◆島本慈子(82期)『ルポ解雇―この国でいま起きていること』(岩波書店)
◆久井　勲(83期)『水尾の果て―ホルムズ海峡』・『民心黙し難し』(作品社)
◆川邊克朗(85期)『拉致はなぜ防げなかったのか』(筑摩書房)
◆古住ラマーズ直子(90期)『最新「アカウンティング」とケース分析』(秀和システム)
◆福井栄一(97期)『鬼・雷神・陰陽師―古典芸能でよみとく闇の世界―』(PHP研究所)
◆マルキ明子(97期)『レクイエム Requiem』(新風舎)
◆中村　亨(104期)『無限ホテル』(文芸社)
◆山崎馨(旧教員)『秋艸道人の歌』・『會津八一の旅の歌』(和泉書院)［山崎先生からは和光慧『定本會津八一の名歌―古都奈良の詩情』(和泉書院)も寄贈いただきました］

＊訳書については省略させていただきました。

六稜文庫の紹介原稿は、次号から広報委員会よりご依頼致します。

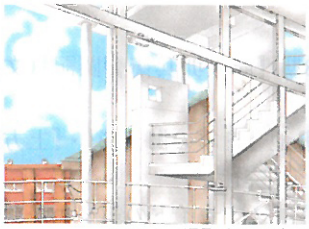


イラスト　河原優子(114期)

母校の窓

教職員異動

■退職

教諭(再任用)　地学　**吉田久昭**
　本校非常勤嘱託へ
技師(再任用)　**粟津加代子**
　本校非常勤嘱託へ
常勤講師　国語　**藤井洋子**
　本校非常勤講師へ
養護助教諭(期限付)　**三谷和歌子**
　西淀川高等学校へ
実習助手　**新保知子**

■転出

教諭　数学　**堀部正之**
　天王寺高等学校へ
教諭　保体　**乾　由美**
　茨田高等学校へ
教諭　英語　**石田和弘**
　芦間高等学校へ
主担主事　**吉村和子**
　柴島高等学校へ

■着任

教諭　数学　**長浜泰洋**(80期)
　阿武野高等学校より
教諭　物理　**山本洋士**
　守口高等学校より
教諭　保体　**高橋貴美子**
　泉鳥取高等学校より
養護教諭　**浜崎優子**　新任
実習助手　**田村睦美**
　守口東高等学校より

■非常勤特別嘱託

地学　**吉田久昭**
技師　**粟津加代子**

■平成16年度 全国大会・近畿大会出場激励金

【山岳部】

●第48回全国高校登山大会
　[男子]**竹内宏明・浜中要輔**(3年)・**樋口真志**(2年)・**古山達大**(1年)
●第50回近畿高校登山大会
　[男子]**樋口真志**(2年)・**古山達大・竹田雄一・谷田俊**(1年)
　[女子]**中山佳菜・野阪恵美**(2年)・**福井麻美・王龍真子**(1年)

【陸上競技部】

●第57回近畿高等学校陸上競技対校選手権大会（第57回全国高等学校陸上競技対校選手権大会近畿地区予選会）
　[女子走高跳]**鈴木奈美**(2年)
●第72回近畿陸上競技選手権大会
　[男子4×400mリレー]**久保慶護・高野陽介・永吉宏充**(3年)・**田所竜翔・山田真豊**(2年)・**内賀嶋雄大**(1年)
　[女子走高跳]**鈴木奈美**(2年)
●第37回近畿高等学校陸上競技対校選手権大会（平成16年度近畿高等学校総合体育大会陸上競技の部）
　[２年女子走高跳]**鈴木奈美**
　[１年男子走高跳]**峰岸達矢**
　[１年女子200m]**鈴木貴子**
　[１年女子400m]**鈴木貴子**

【水泳部】

●第58回近畿高等学校選手権水泳競技大会
　[男子200m個人メドレー]**繆尚樹**(3年)

※以上の団体及び個人に対して、規定に従って激励金が授与されました。有難うございました。

■国際交流活動のご報告

2004年３月13日～29日、恒例のアメリカ・ケントウッド高校への派遣訪問が行われました（２年生男子２名、女子３名と体育科・中林秀道教諭）。今回はケントウッド高校と、ケントレイク高校に１週間ずつの滞在が実現しました。レイクは、ケント地区との交流を共にすすめている阿武野高校の姉妹校です。これにより、日米各二高ずつの交流を、受入れと派遣の双方でバランスのとれたものにすることができました。ケント地区の「桜祭り」への参加では、前年度のような舞台パフォーマンスこそしなかったものの、本校生徒は異文化交流・地域交流につとめ、有意義な経験をしました。

また、６月24日～７月８日、ケント地区から生徒６名（男子３名、女子３名）と教員１名（ウッド高校・生物科）が来日し、６月29日～７月８日の間、本校に滞在または卒業生宅にステイしました。今年度は都合で来日が遅く、考査前に帰国の為、学校では短い変則的な受入れとなりましたが、生徒たちとの交流も、ホストファミリーとの関わりも、従来に劣らぬ成果があり、また期間の一部で３名の卒業生にホストの輪を広げることができました。

■クラブだより

運動部(50音順)

【合氣道部】

現在、部員は２年生男子４名、女子９名、１年生男子３名、女子12名の計28名です。練習は主に平日のみで、昼休み、放課後は毎日練習をしています。また、月に一度師範の先生に稽古を付けていただいています。その日には、ＯＢ・ＯＧの方もたくさん来られるので、普段より密度の高い練習ができ、とても嬉しく思っています。部員１人１人がそれぞれ課題を持って常に上のレベルを目指し、日々練習に励んでいます。六稜祭では演武大会を催し、日頃の成果を発揮しています。これからもそれぞれの目標に向かって頑張っていきますので、先輩の方々もぜひご指導にいらして下さい。部員一同、心よりお待ちしています。

【応援部】

現在部員０。休部状態で廃部の危機に瀕している。夏の高校野球府予選などの応援は野球部員有志、体育大会のクラブ行進の折りの応援披露は運動部キャプテンの協力によって継続されている。応援部の復活はひとえに運動部の躍進にかかっている。奮起せよ、六稜健児!

【器械体操部】

ＯＢ，ＯＧさんのご指導のおかげで、だいぶ技術も向上し、感謝しています。これからもよろしくお願いします。

[大阪府春季大会]（４月）
　男子２部　種別別　跳馬　２位
　　平行棒　２位
　女子２部　団体総合　５位
　男子３部　種目別　平行棒　２位

【剣道部】

６月に３年生が引退し、２年生が中心となって活動するようになりました。まだ不安なところもありますが、しっかり稽古に励み、さらに良い成績を残せるように頑張ります。尾島先生、先輩方、ＯＢさん方、今後ともご指導よろしくお願いいたします。

[北摂剣道大会]
　団体　男子　１回戦敗退
　　女子　２回戦敗退
[京都大学高校招待剣道大会]
　団体　男子　３位
[大阪大学高校招待剣道大会]
　団体　男子　優勝
　　女子　予選リーグ突破、決勝トーナメント１回戦敗退
[高校総体大阪予選]
　団体　男子　ベスト16
　　女子　１回戦敗退
　個人　男子　ベスト16
　　女子　ベスト32

【硬式野球部】

夏の大会での多大なるご声援、本当にありがとうございました。初戦で負けてしまいましたが、このことを人生の糧として、我々３年生はこれからを歩んでいきたいと思っています。次世代の北野高校野球部は一層厳しく練習し、強くなっていきますので、末永くあたたかいご声援をこれからもよろしくお願いいたします。

[春季大会]
　１回戦　●０－７浪速
[市岡定期戦]
　○８－３
[天王寺定期戦]（７月４日）
　●10－18
[夏季大会]（７月17日）
　１回戦　●４－５東淀工

【サッカー部】

春のインターハイ予選では久しぶりにベスト16という結果を残すことができました。これを機に、ベスト８以上、そして全国大会出場を目指して頑張ります。

［新人戦］
　１回戦　●０－２清風
［春季大会］
　１回戦　○３－１西浦
　２回戦　○４－０啓光
　３回戦　○２－０此花総合
　４回戦　○０－０(PK)泉北
　５回戦　○１－０登美丘
　６回戦　●１－３清風
　　（大阪府下ベスト16）
［天王寺高校定期戦］
　●０－１

［山岳部］

今年もまたインターハイに行くことになりました。8/10～13には立山で夏山合宿も行います。男女とも楽しく計画を立て、練習をして、山行を行っています。部員は常に募集しています。元文化部や帰宅部やクラブを変えようと迷っている方々、ぜひ一度来て下さい。
［大阪府春季登山大会］
　男子優勝（11年連続）
　　インターハイ島根大会出場決定

［柔道部］

ＯＢさんへ：いつも手厚いご指導有難うございます。ＯＢさんが来て下さると、普段以上に練習は盛り上がります。その度に、ＯＢさんの存在はとても大きいことを実感します。これからもお忙しいこととは思いますが、ご指導の方宜しくお願いします。
三年生の先輩方へ：今まで受け継いだ物を守っていけるように頑張りますので、見守っていて下さい。
部員は１年生が２名、２年生３名（2004年７月17日現在）。
活動時間　平　日　15：30～17：30
　　土曜日　13：30～16：00
［第22回　北地区学年別柔道大会］1/24
　１年　一回戦敗退
　２年　一回戦敗退
［大村杯］3/27
　Ａチーム　３位　　白藤　眉村賞
［三国ヶ丘杯］3/28
　中島　３位
［翼杯］6/5
　村山　優勝
［インターハイ予選：個人］6/19
　篠原雄大　２回戦敗退
［天高戦］7/3
　点取り　○５－１
　抜き　　北野３人残して勝ち

［水泳部］

今年は１年生が15名入部し、４月末からは学校のプールでの活動が始まりました。１人１人が目標を持って、毎日練習に励んでいます。
［東大阪大会］（４月：東大阪室内プール）
　女子200ｍメドレーリレー　６位
　男子200ｍメドレーリレー　６位
　　200ｍ個人メドレー　６位
　　100ｍ背泳　４位
［中央大会］（６月：なみはやドーム）
　男子200ｍ個人メドレー　８位入賞
　（近畿大会出場！！）

［ソフトボール部］

この春部員が全員卒業しました。部を途絶えさせることになり、とても残念です。試合や練習、合宿に応援に来てくれた先輩方や、助っ人として試合に出てくれた人たちのおかげで、最後まで北野ソフト部として公式戦に出られたことへの感謝の気持ちを忘れずに、早く私たちも先輩として復活したソフト部を応援する日が来ることを願っています。今まで応援ありがとうございました。（昨年度部員一同）

［卓球部］

　活動日：
　　月曜日・隔週木曜日がトレーニング
　　火曜日・隔週木曜日が剣道場
　　水曜日・金曜日がセミナーハウス
［北摂大会］
　男子団体　ベスト８
［団体予選］
　男子シングルス　４回戦
［高校選手権］
　男子シングルス　４回戦
　男子ダブルス　３回戦

［女子テニス部］

去年できたコートで毎日、一生懸命練習しています。本戦に向けて頑張っています。
　６月　赤坂杯　本戦出場

［男子テニス部］

　春季総体　シングル本戦出場

［女子バスケットボール部］

２年生５人、１年生５人、マネージャー１人で活動しています。
コーチの熱心な指導の下、毎日一生懸命練習しています。
人数が少ないので、ぜひ練習をしに来て下さい。
［新人戦地区予選］1/11～
　１回戦　●61－65大冠
［天王寺高校定期戦］2/8
　○58－44
［インターハイ予選］4/18～
　１回戦　○48－42市岡
　２回戦　●33－44天王寺

［男子バスケットボール部］

僕たちは現在部員２年13人、１年17人、マネージャー２人の計32人で活動しています。話し合った結果、ヘッドコーチなしで自分たちで考え活動しています。目標は新人戦で大阪ベスト16にはいることです。ＯＢさんもご協力お願いします。
［新人戦］
　１回戦　北野○104－72阿武野
　２回戦　北野● 83－88春日丘
［定期戦］
　○天王寺
［ＯＢ戦］
　○卒業生
［四高定期戦］
　○灘
　○神戸　優勝
［インターハイ予選］
　１回戦　●57－76茨木工業

［バドミントン部］

２年生９人、１年生20人で楽しく頑張っています。毎日の朝練・昼練に、月・水・金の放練を欠かさずしています。たくさんのＯＢさん・ＯＧさんに支えられてここまでやってきました。厳しい練習をともにしてきた仲間だからこそ、ＯＢ・ＯＧさんとの切れることのないつながりがあるのです！こんな僕たちをこれからもよろしくお願いします！
［第51回大阪高等学校バドミントン選手権大会］
　男子シングルス２部　ベスト32
　男子ダブルス２部　ベスト16
　女子シングルス２部　４回戦進出
［第58回大阪高等学校春季バドミントン競技会］
　団体戦　男子チーム　２回戦進出
　　女子チーム　ベスト32
　男子ダブルス２部　ベスト８
　男子シングルス２部　４回戦進出
　女子シングルス２部　ベスト32

［女子バレーボール部］

私達は限られた練習時間の中で、日々邁進しています。お互いを高め合い、一球でも多くのボールを上げ、スパイクにつなげられるよう頑張っています。応援よろしくお願いします。
［春高予選］
　２回戦
　●０－２門真なみはや
［西田杯　予選リーグ］
　●１－２教育大池田
　●０－２高槻北
［春季部別］
　○２－０金剛
　○２－０農芸
　○２－０高津
　　３部昇格
［豊能大会］
　●０－２教育大池田
　○２－０豊中
［近畿大会予選］
　１回戦　○２－０ＰＬ学園
　２回戦　○２－０堺西
　３回戦　●０－２飛翔館

［男子バレーボール部］

［春高バレー］（１月）
　○２－０長尾
　○２－０城東工業
　●０－２関大一高
［西田杯］（３月）
　○２－０摂陵
　○２－０東豊中
　●０－２刀根山
［春季部別］（４月）
　●０－２履正社
　●０－２関大一高
　●１－２堺市立工業
　　（２部降格）
［豊能地区］（５月）
　○２－０箕面
　●０－２淀商業
　○２－１東豊中
　●０－２刀根山
　●０－２桜塚

２年生は油絵２点、１年生は油絵６点をそれぞれ出品

[ブロック展]
油絵３点出品。このころには１年生が春に入部した人を含めて、７人になっていました。

[年誌の表紙、カット製作] ３月
[球技大会プログラム表紙製作（２年）] ５月
[六稜祭] ６月
３年生は共同作品として、人間サイズの人形を製作。外部の来校者、生徒や先生たちからだけでなく、部員さえ本物の人間がいると思ってしまうくらい、リアルな出来でした。２年生の共同製作はセロハンを利用したマリリン・モンローのステンドグラス。横１m70cm、縦約３mのパネルが２枚という大作になりました。展示の方は、新入部員の１年生から３点、２年生は高校展、コンクール展に出したものも含んで、16点。３年生は高校展、コンクール展、ブロック展のものを６点、油絵を展示しました。また、他己紹介も個性豊かなものを展示できました。入場者数が去年よりも増えていました。ご来場下さった皆様、どうもありがとうございました。

[物理研究部]
現在物理研究部は部員10人で活動中です。月～金の昼休みと放課後に、２階ＬＡＮ教室でプログラミング等をしています。基本的に活動は部員それぞれが各自で決めているので、自分のやりたいことが自由にできます。ぜひ入って下さい。（尚、兼部も可能です。）

[文芸部]
新入生勧誘用に「極彩色の彩空想」を発刊しました。これは百人一首を基にした100の物語で、和歌の三十一文字を文章の頭文字にして31文を作り、１つの物語に仕上げるというものです。新入生限定配布だったのですが、大変好評だったので、六稜祭で再配布しました。来年２月の文化芸術祭に続編の配布を予定しているので、読んでみて下さい。また、文化芸術祭では昨年同様「幻」も配布予定です。今年は、１年生を迎え、８人での活動です。部室がなくとも、元気に活動しています（食堂で）。１年生の加わった文芸部誌は、それぞれの個性が光る☆作品ばかり。ぜひ、読んだ感想、意見等を北野高校文芸部宛にお寄せ下さい。

[放送部]
現在、部員７名でお昼の放送と行事での司会を中心に、活発に活動しています。部員全員で発声の練習をしたりして、アナウンスの技術にも磨きをかけ、聞く人のために、よりよい司会進行ができるようにと、練習しています。最近は、放送機器の準備なども先生に教わりながら勉強し、ますます放送部らしい活動をしています。これからも、もっともっと勉強して、学校を支えていけるようなクラブになるように頑張ります！

[文化芸術祭の司会、アナウンス] 2/10
[放送技術講座に参加] 5/9
[ＮＨＫ放送コンテスト予選] 6/6
朗読の部で１名、アナウンスの部で１名予選通過
[六稜祭での司会] 6/13
[ＮＨＫ放送コンテスト本選] 6/20
朗読の部入賞

[漫画研究会]
現在１，２年生の男子１人、女子３人で活動しています。六稜祭と文芸祭での部誌発行が主な活動です。

■大学合格者数一覧(H16.4.現在)

国立	
北海道大学	5
岩手大学	1
東北大学	1
秋田大学	1
筑波大学	5
東京大学	5
東京学芸大学	1
東京工業大学	1
東京農工大学	1
横浜国立大学	3
金沢大学	2
福井大学	2
山梨大学	1
信州大学	3
静岡大学	1
名古屋大学	2
三重大学	1
滋賀大学	1
京都大学	42
京都教育大学	1
京都工芸繊維大学	6
大阪大学	33
大阪外国語大学	3
大阪教育大学	7
神戸大学	43
兵庫教育大学	1
奈良女子大学	1
鳥取大学	3
島根大学	2
岡山大学	4
徳島大学	2
香川大学	1
高知大学	1
長崎大学	1
合　計	187
公立	
釧路公立大学	1
岐阜薬科大学	1
静岡県立大学	1
名古屋市立大学	2
滋賀県立大学	1
京都市立芸術大学	1
京都府立大学	2
京都府立医科大学	2
大阪女子大学	1
大阪市立大学	16
大阪府立大学	11
神戸市外国語大学	2
神戸市看護大学	1
兵庫県立看護大学	11
奈良県立医科大学	2
九州歯科大学	1
合　計	56
私立	
藍野大学	1
大阪女学院大学	1
立命館ｱｼﾞｱ太平洋大	1
酪農学園大学	1
城西大学	1
北里大学	1
共立薬科大学	2
慶応義塾大学	21
芝浦工業大学	1
順天堂大学	1
昭和大学	2
昭和薬科大学	2
成城大学	1
中央大学	4
津田塾大学	1
東京工科大学	1
東京農業大学	1
東京薬科大学	1
東京理科大学	7
日本大学	1
明治大学	1
早稲田大学	16
神奈川大学	1
中京大学	1
京都産業大学	3
京都女子大学	9
京都精華大学	1
京都薬科大学	17
同志社大学	63
同志社女子大学	8
仏教大学	1
立命館大学	75
龍谷大学	5
追手門学院大学	1
大阪医科大学	5
大阪経済大学	4
大阪工業大学	3
大阪歯科大学	1
大阪樟蔭女子大学	2
大阪商業大学	1
大阪電気通信大学	4
大阪薬科大学	15
関西大学	79
関西医科大学	5
近畿大学	14
摂南大学	1
帝塚山学院大学	1
桃山学院大学	1
関西学院大学	63
甲南大学	12
甲南女子大学	3
神戸学院大学	3
神戸女学院大学	8
神戸女子大学	2
神戸薬科大学	3
兵庫医科大学	3
兵庫大学	1
武庫川女子大学	16
岡山理科大学	1
川崎医科大学	1
福岡大学	1
合　計	507
短期大学	
京都市立看護短	1
堺女子短期大学	1
合　計	2
準大学等	
防衛医科大学校	1
気象大学校	1
防衛大学校	1
合　計	3
専修学校等	
ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ専門	1
神戸製菓専門学校	1
大阪外語専門	1
合　計	3
就職	
合　計	0

六稜同窓会131周年総会
開催のご案内


募金者銘板

日　時　2004年10月31日(日)

総会の部　北野高校　多目的ホール
11：30　受付開始
12：30～14：00　総　会
・各種議事・報告
・卓話

校内見学（ご自由にご覧下さい）

懇親パーティ　六稜会館　３Ｆホール
14：30～16：00　会費　5,000円
＊但し、60期（S22年卒）以前と112期（H12年卒）以降（卒業５年以内）の方は無料。
幹事期：85期

［お願い］　出席される方のみ，同封の返信ハガキをお送り下さい。


昨年度総会から

卓　話
「ミノムシ いとあはれなり」



卓話者のプロフィール
荒川　良(あらかわ　りょう)さん
六稜85期生
昭和53年３月　九州大学理学部生物学科卒
昭和58年３月　九州大学農学研究科博士課程退学
昭和58年８月　富山医科薬科大学医学部教務職員
平成２年６月　富山医科薬科大学医学部助手
平成７年４月　高知大学農学部助教授
平成15年４月　高知大学農学部教授

役　　職　日本昆虫学会評議員等多数

研究テーマ　天敵昆虫を利用した害虫防除
著　　書　「ハエ学」
「日本動物大百科９昆虫Ⅱ」など
河合塾編著「わかる！学問　環境・バイオの最前線　大学・研究者ランキング」や高知県におけるミノムシに寄生するヤドリバエの研究で全国紙、ＮＨＫ、雑誌等に取り上げられた。

［編集後記］
131年目に入るのを機に「読む」会報に誌面を一新した。すべての会員のニュースを取り上げられるよう努める所存。(m)

六稜会報
No.43
発行日　2004年9月15日
発行者　山本次郎
編集委員　富田昌宏
壽榮松正信

発　行　六稜同窓会　http://www.rikuryo.or.jp/
〒532-0025 大阪市淀川区新北野2-5-13 府立北野高校内
phone.06-6306-0374　fax.06-6306-1335
e-mail.office@rikuryo.or.jp　郵便振替.00990-4-68025

デザイン　株式会社ひかり工房
印　刷　〒556-0004　大阪市浪速区日本橋西2-2-11
phone.06-6641-6011　fax.06-6641-6012

事務局　月・水・金(祝日は休)　10:00～17:00　北野高校内